

# 福島県における日常食の放射線モニタリング調査結果の概要について

平成24年9月24日  
災害対策本部原子力班

「平成24年度福島県における日常食の放射線モニタリング調査計画」に基づき、平成24年6月に実施した調査のうち、放射性セシウムの調査結果がまとまりましたのでお知らせします。

## 1 調査対象

県内7方部の一般世帯から選定した78人の1日分の食事

## 2 調査結果

### (1) 放射性セシウム濃度

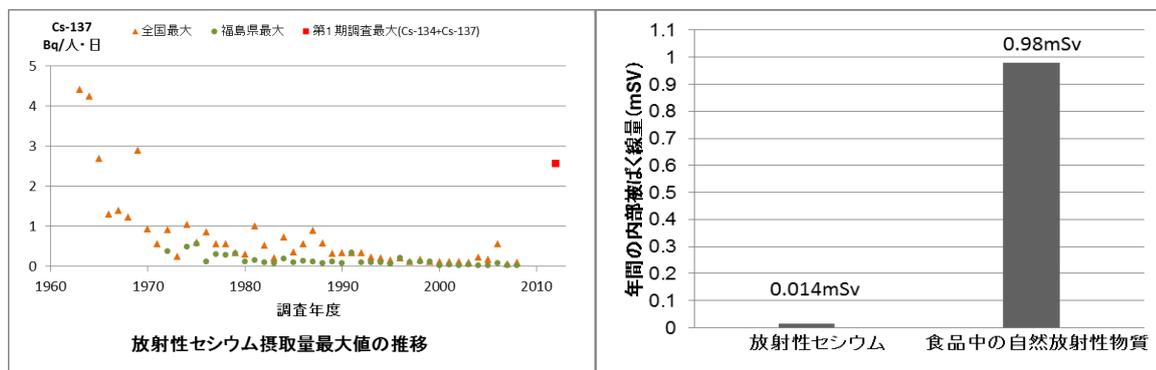
セシウム134は78試料中13試料、セシウム137は78試料中26試料で検出されましたが、食品中の放射性セシウム基準値と比較し、十分低い値でした。

	今回の結果(Bq/kg)	食品中の放射性セシウム基準値(Bq/kg)
セシウム134	不検出 ~ 0.57	—
(検出下限値)	0.054 ~ 0.29	—
セシウム137	不検出 ~ 0.96	—
(検出下限値)	0.048 ~ 0.24	—
合計値	不検出 ~ 1.49	一般食品:100 乳幼児食品:50 飲用水:10

※放射性セシウムの分析精度を高めて実施。(検出下限値0.3Bq/kg程度を確保)

### (2) 1日当たりの放射性セシウム摂取量と内部被ばく線量

- 1日当たりの放射性セシウム摂取量の最大値(2.6Bq/人・日)は、過去の全国調査の最大値(4.4Bq/人・日)の範囲内でした。
- 内部被ばく線量の最大値(0.014mSv/年)は、食品中の自然放射性物質からの内部被ばく線量(約0.98mSv/年)に対し、70分の1程度でした。



## 3 今後の予定

- (1) 6月の調査の試料について、放射性ストロンチウム及びプルトニウムの分析を実施しており、結果がまとまり次第、公表する予定です。
- (2) 本調査は今年度4回実施予定で、2回目の調査を9月末に実施します。

# 福島県における日常食の放射線モニタリング調査結果

平成24年9月24日  
福島県災害対策本部（原子力班）

「平成24年度福島県における日常食の放射線モニタリング調査計画」に基づき、平成24年6月に実施した調査（以下「第1期調査」という。）のうち、放射性セシウムの調査結果がまとまりましたのでお知らせします。

## 1 調査の目的

県内7方部において、一般家庭の日々の食事（日常食）に含まれる放射性物質の濃度を調査し、県民の内部被ばく線量を推定・評価するための基礎資料を得ることにより県民の安全、安心を確保する。

## 2 調査対象核種

放射性セシウム（セシウム134、セシウム137）

（分析機関：財団法人 日本分析センター、独立行政法人 農業・食品産業技術総合研究機構食品総合研究所及び福島県原子力センター福島支所）

## 3 調査期日

第1期調査（食事回収期日）：平成24年6月19日～28日

## 4 調査対象者

県内7方部の一般世帯から選定した78人。

表1 調査対象者方部別・年齢別構成（単位：人）

	県北	県中	県南	会津	南会津	相双	いわき	計
1歳未満	5	7	2	3	1	2	5	25
1歳～12歳	7	7	2	3	1	2	5	27
13歳以上	6	7	2	3	1	2	5	26
計	18	21	6	9	3	6	15	78

※各方部からの選定人数は、各方部世帯数の概ね0.01%の割合とした。

※第1期調査開始時の年齢で集計。

## 5 調査方法

1日分の朝・昼・夕の3食及び間食、飲料、外食等、調査対象者が飲食したものと同一のものすべて（母乳などは対象外）を回収し、これらを混合・攪拌して測定試料とした。なお、1日の食事が少ない場合（1日で2リットル未満）は、数日分を回収して測定試料とし、測定終了後1日当たりの食分量[kg/人・日]を算出した。

放射性物質の測定にはゲルマニウム半導体検出器を用いた。

## 6 調査結果

### (1) 日常食の放射性セシウム濃度

日常食の放射性セシウム濃度の概要を表2に示す。（詳細は別紙1のとおり。）

78試料中、セシウム134が検出されたのは13試料（全体の約17%）、セシウム137が検出されたのは26試料（全体の約33%）であった。

表2 日常食の放射性セシウム濃度の概要

	セシウム 134	セシウム 137
不検出 (検出下限値)	65 試料 (約 83%) (0.054 ~ 0.29Bq/kg)	52 試料 (約 67%) (0.048 ~ 0.24Bq/kg)
検出	13 試料 (約 17%)	26 試料 (約 33%)
検出濃度 (検出下限値)	0.084 ~ 0.57Bq/kg (0.066 ~ 0.21Bq/kg)	0.082 ~ 0.96Bq/kg (0.056 ~ 0.21Bq/kg)

※Bq：ベクレル

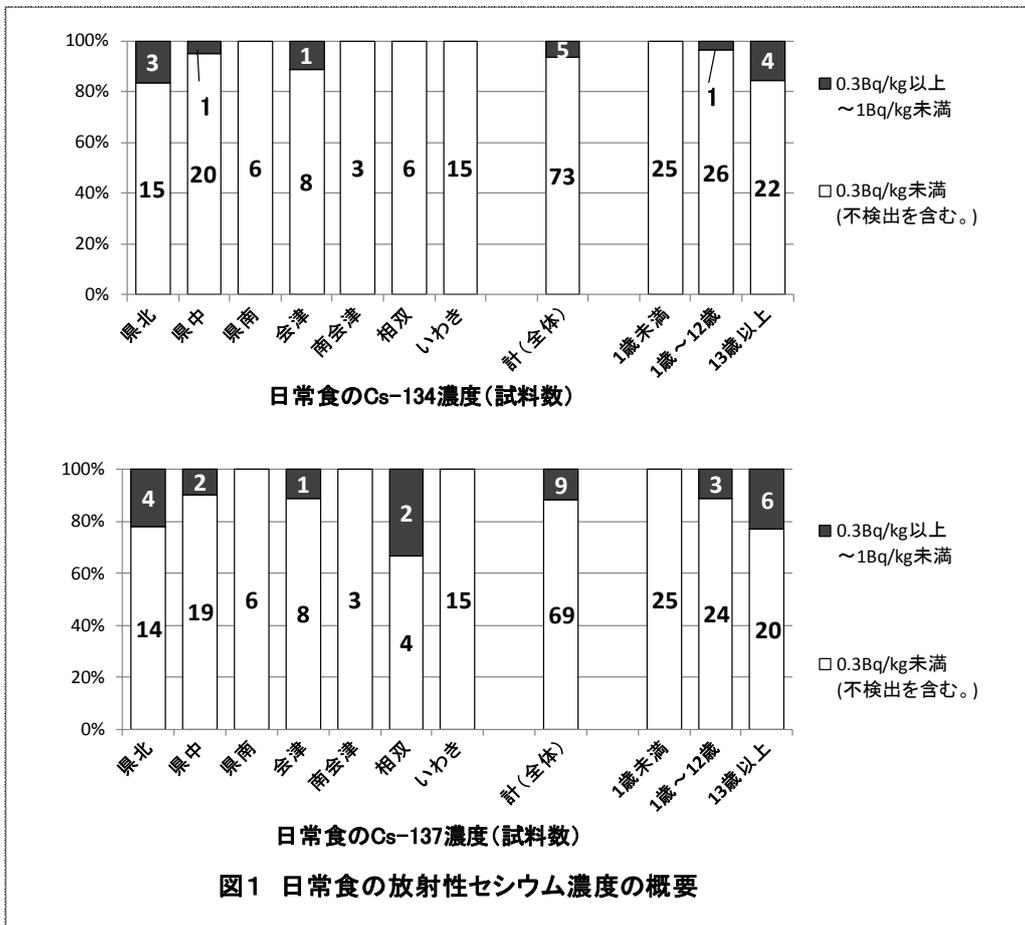
次に、方部別及び年齢区分別の放射性セシウム濃度の概要を図1に示す。

○セシウム 134 が 0.3Bq/kg(\*1)以上検出された試料は、78 試料中 5 試料(全体の約 6%)、セシウム 137 では 78 試料中 9 試料(全体の約 11%)であったが、いずれも 1Bq/kg 未満であった。

(\*1)試料毎に検出下限値が異なるが、全て 0.3Bq/kg 未満となっていることから、測定結果を統一的に評価するため、0.3Bq/kg 未満とそれ以外に分けて評価。

○方部別では、県北、県中、会津及び相双方部の一部の試料からセシウム 134 またはセシウム 137 が 0.3Bq/kg 以上検出されたが、それ以外の方部では 0.3 Bq/kg を下回るか不検出であった。

○年齢区分別では、1歳未満の日常食のセシウム 134 及びセシウム 137 の濃度が 0.3Bq/kg 以上となった試料はなかった。また、1歳～12歳の日常食のセシウム 134 及びセシウム 137 は、13歳以上に比べて 0.3Bq/kg 以上となる割合は小さかった。



※Cs:セシウム

※第1期調査開始時の年齢で集計。

※試料毎に検出下限値が異なるが、全て0.3Bq/kg未満となっていることから、測定結果を統一的に評価するため、0.3Bq/kg未満とそれ以外に分けて評価。

## (2) 日常食から摂取される放射性セシウム量

日常食から1日当たりに摂取される放射性セシウムの量の概要を図2に示す。(詳細は別紙2のとおり。)

○日常食から1日当たりに摂取される放射性セシウム量(\*2)の最大値は、2.6Bq/人・日であった。

(\*2)より安全側に立った評価をするため、セシウム134、セシウム137の濃度が不検出の場合は、検出下限値の放射性セシウムが含まれていると仮定して算出。会津、南会津、相双、いわきの各方部の調査においては、他の方部と比較して、放射性セシウムの検出下限値がやや大きくなっているため、摂取量が過大評価となっていると考えられる。

○方部別では、会津及び相双方部において、他の地域に比較し放射性セシウム摂取量が1Bq/人・日以上となる割合がやや多かった。

○年齢区分別では、1歳未満の放射性セシウム摂取量は全て1Bq/人・日未満であった。また、1歳～12歳の放射性セシウム摂取量は、13歳以上に比べて1Bq/人・日以上となる割合は小さかった。

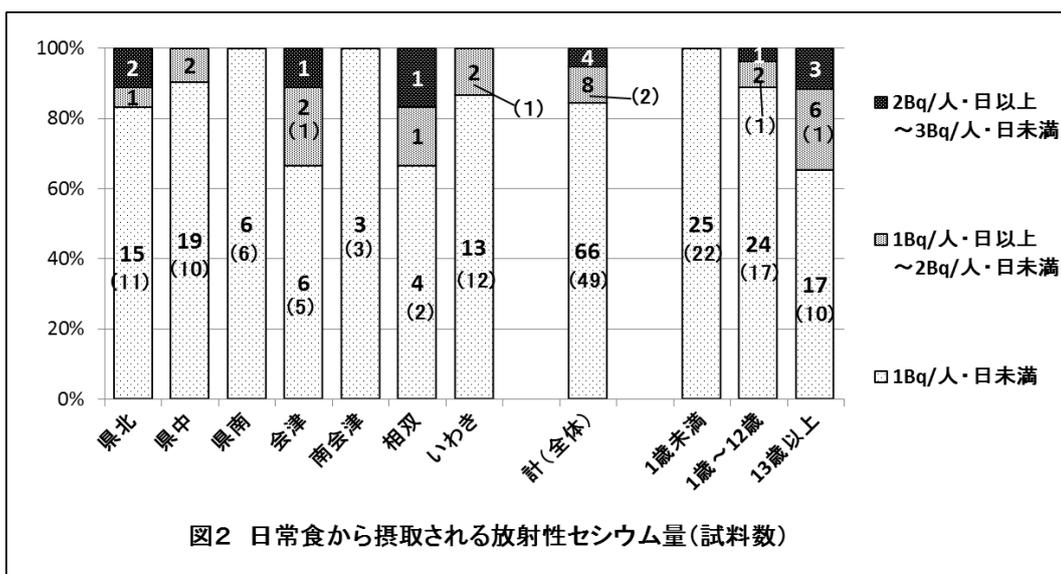


図2 日常食から摂取される放射性セシウム量(試料数)

※第1期調査開始時の年齢で集計。

※より安全側に立った評価をするため、Cs-134、Cs-137の濃度が不検出の場合は、検出下限値の放射性セシウムが含まれていると仮定して算出。計算式は

1日当たりに摂取される放射性セシウム量[Bq/人・日]

= {Cs-134濃度(不検出の場合は検出下限値)

+Cs-137濃度(不検出の場合は検出下限値)} [Bq/kg] × 1日あたりの食事量[kg/人・日]

※( )内の数値は、放射性セシウムが不検出であった試料の内数。

## 7 考察

### (1) 放射性セシウム濃度及び摂取量について

○放射性セシウム濃度（セシウム 134 とセシウム 137 の合計値）の最大値は 1.49 Bq/kg (Cs-134 0.53Bq/kg + Cs-137 0.96Bq/kg) であり、食品中の放射性セシウム基準値（一般食品：100Bq/kg、乳児用食品：50Bq/kg、牛乳：50Bq/kg、飲料水：10Bq/kg）と比較し、十分低い値であった。

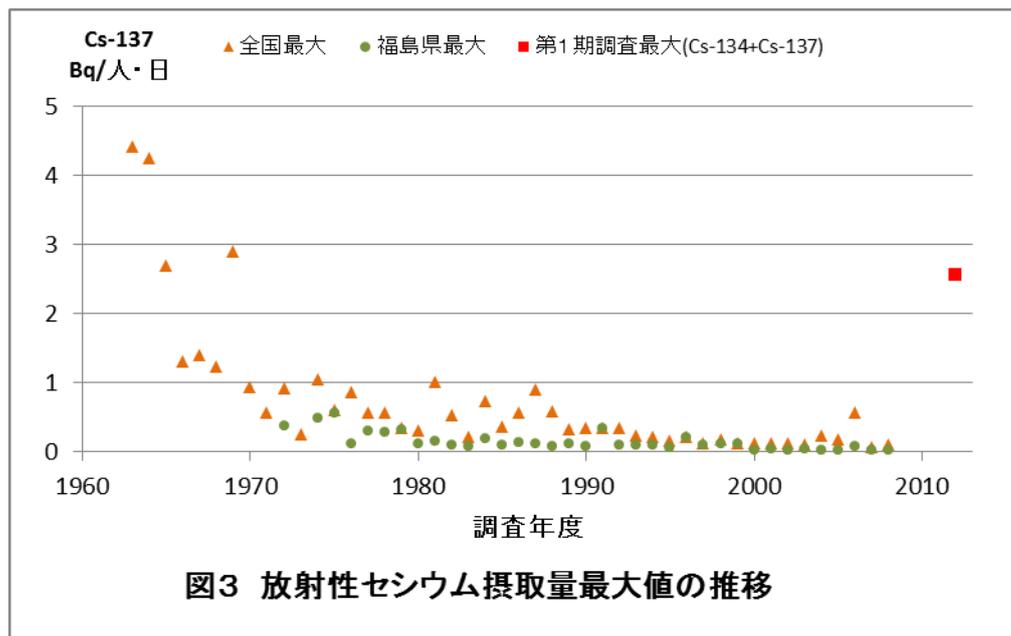
○日常食から 1 日あたりに摂取される放射性セシウム量の最大値は 2.6Bq/人・日であり、福島第一原子力発電所事故発生前において全国の都道府県で実施された最近 10 年間の調査結果の最大値 0.56Bq/人・日（セシウム 137 摂取量）を上回ったが、過去の調査結果の最大値 4.4Bq/人・日（セシウム 137 摂取量）の範囲内であった。（表 3 及び図 3 を参照）

表 3 過去の調査結果との比較（放射性セシウム摂取量）

第 1 期調査の 最大値	最近 10 年間の最大値（事故発生前）		過去最大（事故発生前）	
	全 国	福島県	全 国	福島県
Cs-134+Cs-137 2.6Bq/人・日	Cs-137 0.56Bq/人・日 (2006 年度)	Cs-137 0.11Bq/人・日 (1999 年度)	Cs-137 4.4Bq/人・日 (1963 年度)	Cs-137 0.56Bq/人・日 (1975 年度)

※最近 10 年間の最大値；1999 年度～2008 年度の環境放射能水準調査の最大値。

※過去最大；1963 年度～2008 年度の環境放射能水準調査の最大値。



※「文部科学省“環境放射線データベース” <http://search.kankyo-hoshano.go.jp/servlet/search.top>（参照 2012-07-27）」により作成。

### (2) 預託実効線量の試算

○今回調査した日常食を、仮に 1 年間食べ続けた場合の放射性セシウム摂取による内部被ばく線量（預託実効線量(\*3)）を試算(\*4)すると、78 試料中の最大値は 0.014mSv であった。（詳細は別紙 2 のとおり。）

(\*3) 預託実効線量；放射性物質摂取後、それが体内からなくなるまでの間の総内部被ばく線量。

(\*4) より安全側に立った評価をするため、セシウム 134、セシウム 137 の濃度が不検出の場合は、検出下限値の放射性セシウムが含まれていると仮定して試算。会津、南会津、相双、いわきの各方部の調査においては、他の方部と比較して、放射性セシウムの検出下限値がやや大きくなっているため、預託実効線量が過大評価となっていると考えられる。

- この最大値 (0.014mSv) は、国が食品の基準値設定の際に示した「放射性物質を含む食品からの被ばく線量の上限 年間 1mSv」と比較して十分低い値であった。
- また、日本人が、もともと食品中に含まれる自然放射性核種 (カリウム 40 等) から受ける内部被ばく線量(年間約 0.98mSv)と比較しても十分低い値であった。(表 4 を参照)

**表 4 放射性セシウム等の摂取による内部被ばく線量**

(放射性セシウム摂取による預託実効線量が最大となった方の例)

核種	1日あたりの摂取量	1年間の摂取に伴う預託実効線量
放射性セシウム	2.5 Bq/人・日	0.014 mSv
食品に含まれる自然放射性核種	—	約 0.98 mSv(*5)

(\*5)「新版・生活環境放射線(国民線量の算定)」(原子力安全研究協会、2011年12月)より引用。  
自然放射性核種の経口摂取による内部被ばく線量は、主に鉛 210、ポロニウム 210 から 0.80 mSv/年、カリウム 40 から 0.18mSv/年など、合計 約 0.98mSv/年。

## 8 今後の計画

第 1 期調査では、日常食に含まれる放射性セシウムの濃度を測定する際、その安全性を確認するための指標として、放射性セシウムの検出下限値を 1 Bq/kg 以下に設定し、今回の測定結果では、全ての試料について検出下限値 1Bq/kg 以下を満足しました。

一方、今回の測定結果では、分析機関によって検出下限値にばらつきがあったこと、また、今回の測定結果を踏まえ、より低濃度の放射性セシウムを測定し、可能な限り内部被ばく線量の過大評価を避ける必要があると考えます。以上から、第 2 期調査では、各分析機関での検出下限値を可能な限り統一し、かつ、より低い値に設定することとします。

なお、第 1 期調査で放射性セシウム量を測定した 78 試料について、現在、放射性ストロンチウムおよびプルトニウムの分析、測定を実施しています。これらの調査結果については、結果がまとまり次第お知らせします。

また、日常食に含まれる放射性物質の年間の推移を把握するため、第 1 期調査に御協力いただいた方を対象に、引き続き調査を実施する計画です。

(問い合わせ先 福島県災害対策本部モニタリングチーム 電話 024-521-1917)

## 第1期日常食調査分析結果一覧

No.	方 部	年 齢 区 分	Cs-134 [Bq/kg]		Cs-137 [Bq/kg]		放射性セシウム (Cs-134+Cs-137) [Bq/kg]	(参考)		
								I-131 [Bq/kg]		K-40 [Bq/kg]
			濃度	検出下限値	濃度	検出下限値	濃度	濃度	検出下限値	濃度
1	県北	1	不検出	0.067	不検出	0.065	不検出	不検出	0.19	17
2	県北	1	不検出	0.059	不検出	0.048	不検出	不検出	0.17	21
3	県北	1	不検出	0.077	不検出	0.087	不検出	不検出	0.30	20
4	県北	1	不検出	0.079	不検出	0.063	不検出	不検出	0.38	19
5	県北	1	不検出	0.096	不検出	0.066	不検出	不検出	0.20	18
6	県北	2	不検出	0.072	不検出	0.087	不検出	不検出	0.21	25
7	県北	2	0.20	0.10	0.31	0.084	0.51	不検出	0.30	49
8	県北	2	不検出	0.21	不検出	0.16	不検出	不検出	1.4	44
9	県北	2	不検出	0.079	不検出	0.064	不検出	不検出	0.32	33
10	県北	2	不検出	0.090	0.14	0.065	0.14	不検出	0.38	21
11	県北	2	不検出	0.18	不検出	0.15	不検出	不検出	1.1	37
12	県北	2	不検出	0.071	不検出	0.065	不検出	不検出	0.14	29
13	県北	3	0.36	0.080	0.47	0.074	0.83	不検出	0.68	38
14	県北	3	0.57	0.11	0.90	0.088	1.47	不検出	0.71	36
15	県北	3	0.22	0.068	0.29	0.066	0.51	不検出	0.50	35
16	県北	3	0.45	0.068	0.50	0.068	0.95	不検出	0.35	39
17	県北	3	不検出	0.084	不検出	0.066	不検出	不検出	0.63	33
18	県北	3	0.13	0.081	0.15	0.072	0.28	不検出	0.24	50
19	県中	1	不検出	0.065	不検出	0.058	不検出	不検出	0.29	22
20	県中	1	0.097	0.080	0.11	0.063	0.207	不検出	0.97	33
21	県中	1	不検出	0.068	不検出	0.067	不検出	不検出	0.64	27
22	県中	1	不検出	0.073	不検出	0.061	不検出	不検出	0.55	28
23	県中	1	不検出	0.072	0.11	0.060	0.11	不検出	0.15	19
24	県中	1	不検出	0.077	不検出	0.059	不検出	不検出	0.58	17
25	県中	1	不検出	0.093	不検出	0.072	不検出	不検出	1.1	27
26	県中	2	不検出	0.066	不検出	0.071	不検出	不検出	0.15	27
27	県中	2	不検出	0.095	0.11	0.075	0.11	不検出	0.19	34
28	県中	2	0.21	0.076	0.30	0.065	0.51	不検出	0.70	25
29	県中	2	不検出	0.091	0.092	0.067	0.092	不検出	0.20	29
30	県中	2	不検出	0.060	不検出	0.062	不検出	不検出	0.16	15
31	県中	2	0.084	0.066	不検出	0.073	0.084	不検出	0.60	44
32	県中	2	不検出	0.076	不検出	0.061	不検出	不検出	0.57	27
33	県中	3	不検出	0.083	0.085	0.065	0.085	不検出	0.25	32
34	県中	3	不検出	0.086	不検出	0.087	不検出	不検出	0.39	21
35	県中	3	0.091	0.087	0.17	0.079	0.261	不検出	0.89	35
36	県中	3	不検出	0.085	不検出	0.063	不検出	不検出	0.30	28
37	県中	3	不検出	0.054	0.086	0.056	0.086	不検出	0.23	25
38	県中	3	不検出	0.083	0.082	0.068	0.082	不検出	0.27	28
39	県中	3	0.30	0.085	0.49	0.081	0.79	不検出	1.0	43
40	県南	1	不検出	0.099	不検出	0.11	不検出	不検出	0.32	5.1
41	県南	1	不検出	0.11	不検出	0.12	不検出	不検出	0.29	18
42	県南	2	不検出	0.10	不検出	0.12	不検出	不検出	0.31	36
43	県南	2	不検出	0.11	不検出	0.12	不検出	不検出	0.57	30
44	県南	3	不検出	0.10	不検出	0.11	不検出	不検出	0.68	29
45	県南	3	不検出	0.096	不検出	0.13	不検出	不検出	0.96	41

No.	方 部	年 齢 区 分	Cs-134 [Bq/kg]		Cs-137 [Bq/kg]		放射性セシウム (Cs-134+Cs-137) [Bq/kg]	(参考)		
								I-131 [Bq/kg]		K-40 [Bq/kg]
			濃度	検出下限値	濃度	検出下限値	濃度	濃度	検出下限値	濃度
46	会津	1	不検出	0.23	不検出	0.20	不検出	不検出	1.7	24
47	会津	1	不検出	0.19	不検出	0.17	不検出	不検出	1.5	7.3
48	会津	1	不検出	0.22	不検出	0.19	不検出	不検出	1.6	33
49	会津	2	不検出	0.20	不検出	0.18	不検出	不検出	1.6	31
50	会津	2	0.53	0.21	0.96	0.20	1.49	不検出	1.8	20
51	会津	2	不検出	0.18	不検出	0.16	不検出	不検出	1.4	21
52	会津	3	不検出	0.22	不検出	0.21	不検出	不検出	1.6	41
53	会津	3	不検出	0.28	0.22	0.19	0.22	不検出	1.3	29
54	会津	3	不検出	0.21	0.20	0.20	0.20	不検出	1.5	46
55	南会津	1	不検出	0.23	不検出	0.17	不検出	不検出	0.50	2.4
56	南会津	2	不検出	0.17	不検出	0.17	不検出	不検出	0.36	25
57	南会津	3	不検出	0.19	不検出	0.17	不検出	不検出	0.44	27
58	相双	1	不検出	0.24	0.29	0.21	0.29	不検出	2.2	22
59	相双	1	不検出	0.20	不検出	0.19	不検出	不検出	2.8	18
60	相双	2	不検出	0.15	0.20	0.15	0.20	不検出	1.9	29
61	相双	2	不検出	0.21	不検出	0.20	不検出	不検出	2.4	25
62	相双	3	不検出	0.21	0.30	0.20	0.30	不検出	2.3	14
63	相双	3	0.23	0.21	0.38	0.19	0.61	不検出	2.0	16
64	いわき	1	不検出	0.22	不検出	0.19	不検出	不検出	0.66	19
65	いわき	1	不検出	0.21	不検出	0.16	不検出	不検出	0.69	31
66	いわき	1	不検出	0.21	不検出	0.19	不検出	不検出	0.67	2.8
67	いわき	1	不検出	0.20	不検出	0.18	不検出	不検出	3.0	34
68	いわき	1	不検出	0.16	不検出	0.17	不検出	不検出	2.4	28
69	いわき	2	不検出	0.23	0.29	0.18	0.29	不検出	2.5	27
70	いわき	2	不検出	0.24	不検出	0.20	不検出	不検出	3.5	19
71	いわき	2	不検出	0.18	不検出	0.17	不検出	不検出	0.60	38
72	いわき	2	不検出	0.19	不検出	0.22	不検出	不検出	0.81	27
73	いわき	2	不検出	0.17	不検出	0.16	不検出	不検出	0.55	28
74	いわき	3	不検出	0.16	不検出	0.14	不検出	不検出	2.3	21
75	いわき	3	不検出	0.20	不検出	0.19	不検出	不検出	2.7	20
76	いわき	3	不検出	0.29	不検出	0.24	不検出	不検出	2.8	29
77	いわき	3	不検出	0.26	0.26	0.21	0.26	不検出	4.0	29
78	いわき	3	不検出	0.22	不検出	0.20	不検出	不検出	3.0	30

※年齢区分1は1歳未満、2は1歳～12歳、3は13歳以上を表す。なお、第1期調査開始時の年齢により区分した。

※測定濃度及び検出下限値は、それぞれの試料を採取した期間の最終日の12時に減衰補正した。

※検出下限値を下回る場合、不検出と記載。

※測定環境等の違いにより、各分析機関及び検体毎に検出下限値が異なる。

※なお、参考のため、I-131 (ヨウ素131) なども測定したが、上記以外の人工放射性核種 (ガンマ線放出核種) は不検出であった。

※K-40 (カリウム40) ; 自然放射性核種

## 別紙2

## 第1期日常食調査結果一覧(1日当たりの放射性セシウム摂取量等)

No.	方部	年齢区分	摂取量等算出に用いる放射性セシウム濃度 [Bq/kg]		1日当たりの食事量 [kg/人・日]	1日当たりの放射性セシウム摂取量 [Bq/人・日]	1年間の放射性セシウム摂取による預託実効線量 [mSv]	1日当たりのK-40摂取量 [Bq/人・日]
			Cs-134	Cs-137				
1	県北	1	0.067	0.065	1.06	0.14	0.0012	18
2	県北	1	0.059	0.048	0.81	0.087	0.00075	17
3	県北	1	0.077	0.087	0.78	0.13	0.0011	16
4	県北	1	0.079	0.063	1.50	0.21	0.0019	29
5	県北	1	0.096	0.066	0.37	0.060	0.00052	6.7
6	県北	2	0.072	0.087	1.14	0.18	0.00078	29
7	県北	2	0.20	0.31	0.99	0.50	0.0025	49
8	県北	2	0.21	0.16	0.44	0.16	0.00085	19
9	県北	2	0.079	0.064	1.68	0.24	0.0010	55
10	県北	2	0.090	0.14	2.93	0.67	0.0028	62
11	県北	2	0.18	0.15	0.79	0.26	0.0012	29
12	県北	2	0.071	0.065	0.98	0.13	0.00069	28
13	県北	3	0.36	0.47	2.09	1.7	0.0099	79
14	県北	3	0.57	0.90	1.67	2.5	0.014	60
15	県北	3	0.22	0.29	1.53	0.78	0.0044	54
16	県北	3	0.45	0.50	2.15	2.0	0.012	84
17	県北	3	0.084	0.066	2.28	0.34	0.0020	75
18	県北	3	0.13	0.15	2.66	0.74	0.0043	133
19	県中	1	0.065	0.058	1.03	0.13	0.0011	23
20	県中	1	0.097	0.11	1.44	0.30	0.0025	48
21	県中	1	0.068	0.067	1.24	0.17	0.00086	33
22	県中	1	0.073	0.061	0.080	0.011	0.000093	2.2
23	県中	1	0.072	0.11	2.04	0.37	0.0031	39
24	県中	1	0.077	0.059	1.27	0.17	0.0015	22
25	県中	1	0.093	0.072	0.71	0.12	0.0010	19
26	県中	2	0.066	0.071	2.27	0.31	0.0016	61
27	県中	2	0.095	0.11	1.44	0.30	0.0012	49
28	県中	2	0.21	0.30	2.64	1.3	0.0057	66
29	県中	2	0.091	0.092	2.35	0.43	0.0019	68
30	県中	2	0.06	0.062	2.25	0.27	0.0011	34
31	県中	2	0.084	0.073	1.42	0.22	0.00093	62
32	県中	2	0.076	0.061	1.63	0.22	0.00094	44
33	県中	3	0.083	0.085	2.22	0.37	0.0022	71
34	県中	3	0.086	0.087	1.78	0.31	0.0018	37
35	県中	3	0.091	0.17	2.01	0.52	0.0029	70
36	県中	3	0.085	0.063	1.19	0.18	0.0011	33
37	県中	3	0.054	0.086	2.50	0.35	0.0020	63
38	県中	3	0.083	0.082	1.99	0.33	0.0019	56
39	県中	3	0.30	0.49	1.70	1.3	0.0075	73
40	県南	1	0.099	0.11	1.85	0.39	0.0033	9.4
41	県南	1	0.11	0.12	1.25	0.29	0.0025	23
42	県南	2	0.10	0.12	0.97	0.21	0.00087	35
43	県南	2	0.11	0.12	0.97	0.22	0.0011	29
44	県南	3	0.10	0.11	2.00	0.42	0.0024	58
45	県南	3	0.096	0.13	2.83	0.64	0.0036	116

No.	方部	年齢区分	摂取量等算出に用いる放射性セシウム濃度 [Bq/kg]		1日当たりの食卓量 [kg/人・日]	1日当たりの放射性セシウム摂取量 [Bq/人・日]	1年間の放射性セシウム摂取による預託実効線量 [mSv]	1日当たりのK-40摂取量 [Bq/人・日]
			Cs-134	Cs-137				
46	会津	1	0.23	0.20	1.18	0.51	0.0044	28
47	会津	1	0.19	0.17	2.18	0.78	0.0068	16
48	会津	1	0.22	0.19	1.65	0.68	0.0059	54
49	会津	2	0.20	0.18	1.16	0.44	0.0023	36
50	会津	2	0.53	0.96	1.72	2.6	0.010	34
51	会津	2	0.18	0.16	2.44	0.83	0.0037	51
52	会津	3	0.22	0.21	2.82	1.2	0.0071	116
53	会津	3	0.28	0.22	1.85	0.93	0.0055	54
54	会津	3	0.21	0.20	2.45	1.0	0.0059	113
55	南会津	1	0.23	0.17	0.029	0.012	0.00010	0.070
56	南会津	2	0.17	0.17	2.43	0.83	0.0036	61
57	南会津	3	0.19	0.17	2.61	0.94	0.0055	70
58	相双	1	0.24	0.29	1.27	0.67	0.0057	28
59	相双	1	0.20	0.19	1.04	0.41	0.0035	19
60	相双	2	0.15	0.20	1.41	0.49	0.0020	41
61	相双	2	0.21	0.20	1.57	0.64	0.0028	39
62	相双	3	0.21	0.30	3.10	1.6	0.0089	43
63	相双	3	0.23	0.38	3.43	2.1	0.012	55
64	いわき	1	0.22	0.19	0.61	0.25	0.0022	12
65	いわき	1	0.21	0.16	1.31	0.48	0.0025	41
66	いわき	1	0.21	0.19	0.17	0.068	0.00059	0.48
67	いわき	1	0.20	0.18	0.68	0.26	0.0022	23
68	いわき	1	0.16	0.17	0.44	0.15	0.0012	12
69	いわき	2	0.23	0.29	0.61	0.32	0.0013	16
70	いわき	2	0.24	0.20	2.33	1.0	0.0053	44
71	いわき	2	0.18	0.17	1.41	0.49	0.0020	54
72	いわき	2	0.19	0.22	1.66	0.68	0.0029	45
73	いわき	2	0.17	0.16	1.57	0.52	0.0021	44
74	いわき	3	0.16	0.14	2.27	0.68	0.0040	48
75	いわき	3	0.2	0.19	2.08	0.81	0.0048	42
76	いわき	3	0.29	0.24	1.65	0.87	0.0052	48
77	いわき	3	0.26	0.26	2.01	1.0	0.0061	58
78	いわき	3	0.22	0.20	1.96	0.82	0.0049	59

※年齢区分1は1歳未満、2は1歳～12歳、3は13歳以上を表す。なお、第1期調査開始時の年齢により区分した。

※本表の摂取量等算出に用いる放射性セシウム濃度は、より安全側に立った評価をするため、Cs-134、Cs-137の濃度が不検出の場合は、検出下限値の放射性セシウムが含まれていると仮定した。これらの値を用いて放射性セシウム摂取量及び預託実効線量を算出した。

※放射性物質摂取による預託実効線量（放射性物質摂取後、それが体内からなくなるまでの間の総内部被ばく線量）は、「環境放射線モニタリング指針」（平成20年3月、原子力安全委員会）に基づき試算した。計算式は  
1年間の放射性セシウム摂取による預託実効線量[mSv]

$$= (\text{本表のCs-134濃度 [Bq/kg]} \times \text{Cs-134の換算係数 [mSv/Bq]} + \text{本表のCs-137濃度 [Bq/kg]} \times \text{Cs-137の換算係数 [mSv/Bq]}) \times 1日当たりの食卓量 [kg/人・日] \times 365.25$$

換算係数は国際放射線防護委員会(ICRP)「Publication 72」(1996)によった。

Cs-134の換算係数[mSv/Bq]: 0歳が0.000026、1～2歳が0.000016、3～7歳が0.000013、8～12歳が0.000014、13歳以上が0.000019。

Cs-137の換算係数[mSv/Bq]: 0歳が0.000021、1～2歳が0.000012、3～7歳が0.0000096、8～12歳が0.00001、13歳以上が0.000013。

なお、預託実効線量の試算に当たっては、食事回収時の実年齢に応じた換算係数を使用した。